

安全データシート (SDS)

作成日 2024 年 10 月 1 日

1. 化学品（製品）及び会社情報

製品名 : JA-211 セラミッククロス片面アルミ箔付
会社名 : 株式会社ジャパンアイビック
会社住所 : 〒262-0045 千葉県花見川区作新台5丁目4番1号
担当部門 : 開発営業部
電話番号 : 043-259-9461
FAX番号 : 043-259-9571
緊急連絡先 : 043-259-9461
推奨用途 : 空調用たわみ継手材料/バイオセラミックス紡織品
整理番号 : 0030

2. 危険有害性の要約

分類の名称 : 分類基準に該当しない
危険性 : 製品としてのデータなし
有害性 : 製品としてのデータなし
環境影響 : 特に環境を汚染するという文献はない

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学組成	CAS 番号
アルカリアースシリケートウール 60~80%	436083-99-7
レーヨン 10~20%	
ガラスフィラメント 10~20%	65997-17-3
ステンレスワイヤー 0~20%	
インコネルワイヤー 0~20%	

危険有害性の原因となる成分 : 情報なし
化審法（官房公示整理番号） : 化学物質に該当しないため番号なし
労働安全衛生号通知対象物 : 314
PRTR 法 : 非該当

4. 応急措置

目に入った場合 : 異物感がなくなるまで、流水で洗浄する。目をこすってはならない。
皮膚に付着した場合 : 水またはお湯で流し落としたのち、石鹸でよく洗う。痛みが残ったり、何か症状がある時は、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

不燃性

6. 漏出時の措置

飛散しないように掃除機で回収する。掃除機が使用できない場合は、湿潤な状態にして、拭き集めて回収する。

7.取扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意

- 粉塵が飛散するのを防止するために、屋内の取り扱い作業所には必要に応じ、局所排気装置等の対策を講じる。
 - 粉塵の飛散を防止することができない場合には、防塵マスクを着用する。
 - 眼・皮膚等への接触を避ける為、適切な保護具を着用する。
 - 水漏れ注意
 - 作業着などに付着した場合はよく取り除く。
 - 取り扱い後は、うがい及び手洗いを敢行する。
-

8.暴露防止及び保護措置

管理濃度	: 質量濃度 (吸入性粉塵)・・・3.0mg/m ³
許容濃度	: アルカリアースシリケートウールとしての許容濃度は定められていない。
設備対策	: 粉塵の飛散源を密閉にするか局所排気装置、除塵装置を配置する。 設置することが困難な場合は下記に定める保護具を使用すること。
保護具	: 防塵マスク作業環境中の濃度が、上記の基準を超えるおそれのある場合は、防塵マスクを着用する必要がある。防塵マスクの形式は、フィルタ交換型が通常は適している。多くの種類の国家検定品が市販されているので、この中から作業に適したものを選定し、顔面への密着状態には特に留意するとともに、フィルタの点検と交換などの保守管理を適切に行う。
保護眼鏡	: ゴーグル、サイドシール付保護メガネなど作業に適した保護具を使用する。
保護手袋	: ゴム手袋、長袖作業着などの適したものを使用し、皮膚が露出しないようにする。

9.物理的及び科学的性質

外観等	: ヤーン クロス状 テープ状 ロープ状
色	: 白色、緑色
平均繊維径	: 2～5 μm
引火点	: 非引火性
発火点	: なし
爆発範囲	: なし
最高使用温度	: 1100℃以下
溶解度	: 水、有機溶剤に溶解しない
比重	: 2.5～3

10.安定性及び反応性

安定性	: 安定
-----	------

11.有害性情報

1) 急性作用

- 爆発範囲 : 物理的な刺激作用がある。
- 皮膚に付着した場合 : 痒みや紅斑が生じることがあるが、一過性で慢性障害を生じることはない。

2) 慢性作用

発生する粉塵中に吸入性繊維が含まれるが、吸入しても、排出されやすいため、呼吸器系の障害を生じるおそれが低いと考えられる。

3) 発がん性

EU 指令 97/69EC の NotaQ (適用除外要件) に該当し、EU の人造鉱物繊維の発がん性分類ではカテゴリー0 (発がん性なし) に該当する。国際がん研究機関 (IARC) では、発がん性の分類の記載がない。

12.環境情報

生体影響についてはデータなし。

13.廃棄上の注意

廃棄の方法は一般的な産業廃棄物と同様に取り扱う。
その他関係法令の定めるところに従う。

14.輸送上の注意

危険性はないが輸送中の梱包の破損などによって粉塵が飛散しないように注意する。

国連分類：なし

国連番号：なし

15.適用法令

労働安全衛生法 : 通知対象物（人造鉱物繊維）

粉塵障害防止規則 : 適用

消防法 : 適用なし

危険物船舶運送及び貯蔵規則 : 適用なし

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法） : 適用なし

注）アルカリアースシリケートウールは、「粉塵障害防止規則（粉塵則）」において「鉱物」に該当し、次の作業を行う場合は粉塵則の適用を受けるが、「特定化学物質障害予防規則（特化則）」などのその他の法規の適用は受けない。

- 1) 鉱物（本製品）を裁断し、彫り、または仕上げする場所における作業（粉塵則別表 1 の 6 号）
 - 2) 鉱物（本製品）を動力により破碎し、粉碎し又はふるいに分ける場所における作業（粉塵則別表 1 の 8 号）
 - 3) 耐火物を用いて窯、炉等を築造し、もしくは修理し、または耐火物を用いた窯、炉等を解体し、もしくは破碎する作業（粉塵則別表 1 の 19 号）
-

16.その他の情報

仕様前のアルカリアースシリケートウール中には、遊離けい酸は存在しないが、さらなる加熱（1000℃以上）に伴い、繊維の結晶化が進行し、表面の一部が遊離けい酸の一種であるクリストバライトに徐々に変化を起こす。使用后、これらの物質を廃棄すると、少量の遊離けい酸が含まれる粉塵が発生する可能性がある。遊離けい酸はじん肺を生じる作用がある為、窯炉の補修、解体等においては、この粉塵を吸入することがないように注意する必要がある。なお、管理濃度は次の式で算出される。

管理濃度(mg/m³)=3.0/(1.19Q+1) Q=遊離けい酸含有率(%)

- ①この安全データシートは、当社の製品を適正にご使用頂く為に必要で、注意しなければならない事項を簡潔に纏めたもので、通常の取り扱いを対象としたものです。
 - ②本製品は、この安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱って下さい。
 - ③ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所見の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。
-